

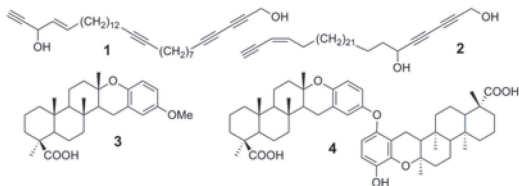
# 28M-am10S

沖縄産海綿由来の新規細胞増殖阻害活性物質の探索

○李 禎<sup>1</sup>, 楠田 亮平<sup>1</sup>, 田中 千晶<sup>1</sup>, 宮本 智文<sup>1</sup>(<sup>1</sup>九大院薬)

【目的】沖縄産 *Petrosia* (*Strongylophora*) 属の海綿より、Hela 及び K562 に対する細胞増殖阻害活性を指標にポリアセチレン類およびメロテルペノイド類を単離、構造決定したので報告する。

【実験・結果】2009 年沖縄県西表島で採取した海綿(湿重量 244g)を EtOH で抽出し、濃縮後得られた EtOH ext.を H<sub>2</sub>O と Et<sub>2</sub>O、*n*-BuOH で分配した。細胞増殖阻害活性を指標に Et<sub>2</sub>O ext.について Sephadex LH-20, Silica gel カラムで精製し、新規ポリアセチレン(**1**, **2**)およびメロテルペノイド strongylophorine-1(**3**)<sup>1)</sup>を単離構造決定した。また、*n*-BuOH ext.についても、活性を指標に分離、精製を行い、strongylophorine dimer(**4**)<sup>2)</sup>他、数種の strongylophorine 関連化合物を同定した。今回、単離した化合物と細胞増殖阻害活性について発表する。



1) J. C. Braekman *et al.*, *Bull. Soc. Chim. Belg.*, **87**, 917-926 (1978).

2) M. Balbin-Oliveros *et al.*, *J. Nat. Prod.*, **61**, 948-952 (1998).